学校番号	102

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表 五訂版（第一学習社）、改訂版詳録新日本史史料集成（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史の理解は教科書の内容把握だけで十分であるというわけではありません。図版などの統計資料や地図資料、古文書などの史料の読解など、教科書以外の副教材の活用と合わせて、同じ地理歴史科の世界史・地理との関連も重視されている。世界史との関連付けにおいては、各時代における我が国と諸外国との政治的、経済的、文化的な接触・交流が、我が国の歴史と文化の展開にどのような作用を及ぼしたかを考察する必要があります。歴史は時間の経過の中で発生した様々な事象を考察する学問ですが、「どこで」という場所の把握、すなわち地理的理解との関連づけにおいて、歴史上の出来事の舞台となった諸地域について地図帳や地形図の活用を図りながら学習させることも必要です。つまり、歴史認識においては、日本国内外の空間的時間的な諸事象について、多面的・多角的に考察することが求められています。

歴史的諸事象を、他の時代の特色と比較・考察して、その共通点・相違点を明らかにし、その要因や背景を突き詰めていく学習がこれからは必要となります。そのため、歴史的思考力を育成する技能的内容項目として、「歴史史料」の活用、「図説資料」の理解を積極的に取り入れ、通史的内容の中に歴史事象の重要な「キーワード」を見つけさせ、発展的に思考力を養うことを最終的な目標としてあげておきます。

２　学習の到達目標

世界の平和と人類の福祉に貢献し、真理と平和を希求する人間の育成を期するため、人類の誕生から今日に至るまでの人間の「政治的」「経済的」「文化的」発展の足跡をたどり、日本がいつの時代にどのような進歩を遂げ、社会を発展させてきたかを理解する。

同時にその発展は、政治権力を握る特定の人々の歴史では無く、その時代に生きた多くの人々が築き上げてきたものであること、それには多くの人々の努力と尊い命を伴ってきたこと、また、日本国内だけの歴史的経過では無く、アジアとその周辺地域や欧米諸国との関係の中で生み出されてきたものであること、それらの関係は戦争のような悲劇的歴史事象、学術的文化的交流やそれに伴う活発な人々の交流のような友好的歴史事象などがあり、決して一面的にとらえることはできないこと、などを総合的理解することを学習の到達目標とする。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。

評価方法	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1. 文化の始まり	**Ⅰ部　原始・古代** **第１章　日本文化のあけぼの** １．文化の始まり ①：人類文化の発生、旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②：打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果の理解する。	○	○	○	○	ａ旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目できたか。 ｂ世界史的な側面からの考古学的価値を考えられたか。 ｃ黒曜石、サヌカイト、縄文土器などの考古資料の活用ができたか。 ｄ集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察できたか。	プリントチェック
1学期	2. 農耕社会の成立	２．農耕社会の成立 ①：稲作伝播の様子や地域性を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 ②：富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流から考察する。	○	○	○	○	ａ水稲耕作の開始・金属器の伝来や弥生文化形成の過程に関心を持って考察できたか。 ｂクニの成立から邪馬台国に至るまでの経過を、東アジア世界の観点から考察できたか。 ｃ『魏志倭人伝』などの文献資料の活用ができたか。 ｄ農耕社会の成立を国内外の情勢を踏まえて理解できたか。	プリントチェック

1学期	3．古墳とヤマト政権	３．古墳とヤマト政権 ①：首長の出現及び統一国家形成過程を、古墳の変容からとらえる。 ②：ヤマト政権の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③：ヤマト政権の政治制度を理解する。	○	○	○	○	ａ古墳の形状や大きさの変化、石室など埋葬施設の変容からヤマト政権と各地の政治勢力の関係に着目できたか。 ｂ中国及び高句麗・新羅・百済など朝鮮半島の情勢との関連を視野に入れた考察ができたか。 ｃ文字や仏教など大陸文化の受容を踏まえ、『宋書』の記事などからヤマト政権の成立についてとらえることができたか。 ｄ古墳時代後期から終末期にかけての文化・生活の変化、大王を中心とする氏姓制度など、ヤマト政権を総合的に理解できたか。	プリントチェック 章末小テスト
1学期	1．飛鳥の朝廷	**第２章　律令国家の形成** １．飛鳥の朝廷 ①：ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。	○	○	○	○	ａヤマト政権から飛鳥文化への変遷過程を古代王権の確立という視点で考えられたか。 ｂ中国隋との関わりを東アジアの視点でとらえられたか。 ｃ仏教の受容や遣隋使など『隋書』や『日本書紀』等の記録から、大陸との交流を踏まえて考察できたか。 ｄ推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の形成について理解できたか。	プリントチェック

1学期	2. 律令国家への道	２．律令国家への道 ①：律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化について考察する。 ②：律令に基づく国内統治体制について理解する。	○	○	○	○	ａ大化改新以降の天智・天武・持統・文武朝の政治動向に着目できたか。 ｂ7 世紀後半の国内外の関係を律令体制整備の過程なかで捉えられたか。 ｃ飛鳥文化から白鳳文化の形成過程を図表資料などをもとに考察できたか。 ｄ大宝律令に基づく公地公民制、統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制について理解できたか。	プリントチェック
1学期	3. 平城京の時代	３．平城京の時代 ①：律令体制完成期の奈良時代を、多角的・多面的にとらえて考察する。 ②：平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。	○	○	○	○	ａ日本における律令国家のあり方を唐との関係に着目して考えたか。 ｂ平城京における大宝律令・養老律令による律令体制が整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察できたか。 ｃ『続日本紀』などの文献史料を基に、8世紀の日本のあり方を考えられたか。 ｄ平城京における政治抗争と墾田永年私財法にみられる公地公民制の動揺など土地制度の変容を関連づけて理解できたか。	プリントチェック
1学期	4. 天平文化	４．天平文化 ①：天平文化の政治性と国際性、国家仏教の展開について、古代国家の展開から理解する。	○	○	○	○	ａ天平文化の美術作品に大いに関心を持てたか。 ｂシルクロード諸地域との関係を世界地図上で理解できたか。 ｃ図表資料の中の正倉院の宝物などについて考察できたか。 ｄ盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想などについて理解したか。	プリントチェック

1学期	5. 平安王朝の形成	５．平安王朝の形成 ①：平安前期の古代国家の推移と、東北支配や政治改革、地方統治の変容、律令体制の変質について考察する。 ②：東アジアとの関係から唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	○	○	○	○	ａ長岡、平安遷都の過程について当時の政治情勢をふまえて考えたか。 ｂ真言宗・天台宗などに着目して、平安初期が唐の文化を受容していることを理解できたか。 ｃ密教芸術が生まれた平安初期弘仁貞観期の東アジア世界との関係を図表資料を使い理解できたか。 ｄ東北蝦夷の支配や平安京における藤原北家の台頭など平安初期の中央と地方のあり方をおける土地支配体制の動揺とともに考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
1学期	1. 摂関政治	**第３章　貴族政治と国風文化** １．摂関政治 ①：藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響を理解する。	○		○	○	ａ摂関政治の成立について関心を深められたか。 ｃ藤原北家が権力を掌握していく過程を『小右記』などの史料を通して理解したか。 ｄ律令体制の変容の観点から摂関政治の成立と展開を考察できたか。	プリントチェック
1学期	2. 国風文化	２．国風文化 ①：大陸文化の消化、末法思想を背景として成立した国風文化の展開を理解する。	○		○	○	ａ国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、国風文化が成立したことを理解できたか。 ｃ浄土教の出現について、その関連史料を使い理解できたか。 ｄかな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。	プリントチェック

1学期	3. 地方政治の展開と武士	３．地方政治の展開と武士 ①：地方での律令体制の崩壊が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ②：地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について考察する。	○		○	○	ａ武士が平安時代に登場することに関心を持てたか ｃ文献史料を活用し、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察することができたか。 ｄ武士の反乱や成長などから中世社会の萌芽を見出すことができたか。	[中間考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述
1学期	1. 院政と平氏の台頭	**第Ⅱ部　中世** **第４章　中世社会の成立** １．院政と平氏の台頭 ①:院政期の政治・経済・社会・文化、土地制度を理解する。 ②：政治の動向、国際関係から平氏政権の確立について考察する。	○	○	○	○	ａ古代国家の土地制度の崩壊から荘園公領制成立する過程に着目できたか ｂ平氏政権の特性、日宋貿易の展開などを考察することで、武家政権の成立過程を把握できたか。 ｃ荘園関係史料や『平家物語』などの文学から当時の社会の様相を理解できたか。 ｄ院政の政治構造や平氏政権下の経済・社会・文化を理解できたか。	プリントチェック
1学期	2. 鎌倉幕府の成立	２．鎌倉幕府の成立 ①：鎌倉幕府が全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。	○		○	○	ａ源平争乱から幕府の成立過程の動きについて着目することができたか。 ｃ鎌倉幕府が発した諸法令を考察し、武家政権のあり方に理解を深めたか。 ｄ鎌倉初期における幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などに着目することができたか。	プリントチェック

1学期	3. 武士の社会	３．武士の社会 ①：承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、執権政治の確立に至る過程を考察する。 ②：武士の生活と地方支配を通じて、地頭が土地支配権を掌握する過程を考察する。	○		○	○	ａ武家社会が公家社会に対して優勢なる過程に着目できたか。 ｃ公武関係の変化の背景として、『吾妻鏡』などの史料を通して武家政権の変容を見ることができたか。また絵画資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争などについて考察できたか。 ｄ鎌倉幕府が成熟し武家政権の支配力が増大する過程を考察できたか。	プリントチェック
1学期	4. 蒙古襲来	４．蒙古襲来 ①：蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。	○	○	○	○	ａ元寇が鎌倉幕府の支配体制に影響を与えた点に着目できたか。 ｂモンゴル帝国がアジア支配を強めた経緯など13世紀の世界情勢を踏まえて、理解できたか。 ｃ世界地図的な視野での元寇の考察ができたか。 ｄ文永の役・弘安の役の展開、得宗専制政治の展開、農業・商工業の発達による社会の変動、永仁の徳政令の発布などを取り上げ、考察できたか。	プリントチェック
1学期	5. 鎌倉文化	５．鎌倉文化 ①：庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教など、新しい文化が生まれたことを理解する。	○	○	○	○	ａ鎌倉仏教の多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響について考察できたか。 ｂ禅宗が拡大したことで中国宋との関係が深いことを考察できたか。 ｃ文学・絵巻物・彫刻の特徴に着目できたか。 ｄ鎌倉文化が武家文化として発展した点に着目できたか。	プリントチェック 章末小テスト

1学期	1. 室町幕府の成立	**第５章　武家社会の成長** １．室町幕府の成立 ①：南北朝の動乱から室町幕府の成立について、日本諸地域の動向とともに考察する。 ②：琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	○	○	○	○	ａ鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊過程について関心が持てたか。 ｂ日明貿易・日朝貿易の展開、琉球やアイヌの動向に着目できたか。 ｃ室町幕府の成立過程に関する史料から南北朝の動乱を考察できたか。 ｄ貿易に関する史料や守護大名の動きに着目して室町幕府の権力構造の確立について理解できたか。	プリントチェック
1学期	2. 幕府の衰退と庶民の台頭	２．幕府の衰退と庶民の台頭 ①：庶民の活動が社会秩序の変革力として成長した一方、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②：諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	○		○	○	ａ惣村の形成や土一揆の発生、応仁の乱に代表される幕府の動揺や衰退を考察できたか。 ｃ惣の自治についての史料から庶民と台頭が進んだことを理解できたか。 ｄ流通経済の進展による農業・商工業の発達を踏まえて庶民が台頭する姿をとらえられたか。	プリントチェック
1学期	3. 室町文化	３．室町文化 ①：東アジアとの交流に着目して、武家・公家文化及び大陸文化とのかかわりについて理解する。 ②：庶民文化の萌芽や、応仁の乱による文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の発展を理解する。	○	○	○	○	ａ室町文化が武家・公家文化の融合であること、禅文化の果たした役割などに関心を持てたか。 ｂ五山文学や水墨画などの中国宋の影響を受けたものであることが理解できたか。 ｃ図表資料から南北朝・北山・東山文化の特徴をとらえることができたか。 ｄ能・狂言・茶の湯・立花などを例にとり今日につながる庶民文芸の流行を理解できたか。	プリントチェック

2学期	4. 戦国大名の登場	４．戦国大名の登場 ①：地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について考察する。	○	○	○	○	ａ室町時代の後半から急速に台頭し領国統治を強化した戦国大名について着目できたか。 ｂ商人に支えられた堺や博多など都市の発展を通じて日本が世界につながっていたことを理解したか。 ｃ分国法など大名による分国統治のあり方を史料から確かめたか。 ｄ戦国大名の存在を日本の地図上において理解できたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述
2学期	1. 織豊政権	**第Ⅲ部　近世** **第６章　幕藩体制の確立** １．織豊政権 ①：世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②:織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略など織豊政権のその後の時代への影響について考察する。	○	○	○	○	ａ戦国時代が織田信長、豊臣秀吉らによって統一される過程を理解できたか。 ｂ鉄砲やキリスト教の伝来などヨーロッパ社会とのつながりが背景にあることを理解したか。 ｃ楽市、検地、刀狩にみられる諸政策について史料を理解してその政策を考察できたか。 ｄ豊臣政権の統一過程と崩壊を朝鮮出兵など東アジアにおける国際関係の中で把握ができたか。	プリントチェック
2学期	2. 桃山文化	２．桃山文化 ①：大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し考察する。	○	○	○	○	ａ桃山文化が生活文化の中にとけ込んだ文化であることを理解したか。 ｂ桃山文化が国際性を持つ南蛮文化として成立したことや秀吉の朝鮮侵略が文化にもたらした影響について考察できたか。 ｃ図表の資料から桃山文化の華麗さに関して理解できたか。 ｄ文化の担い手は権力者だけでなく堺などの商人が関わっていることを理解できたか。	プリントチェック

2学期	3. 幕藩体制の成立	３．幕藩体制の成立 ①：江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ②：鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係も含めてその影響と歴史的意義を考察する。	○	○	○	○	ａ関ヶ原以後の江戸幕府の成立過程と特性について考察したか。 ｂ初期外交から鎖国までの過程について、禁教徹底に伴う対欧貿易統制の側面だけでなく、鎖国下でも琉球・朝鮮・蝦夷地との活発な交易活動が行われたことが理解できたか。 ｃ鎖国政策における関連史料を 17 世紀初頭の海外情勢とともに理解したか。 ｄ幕藩体制の特質について、幕府と藩・朝廷・寺社との関係を踏まえて、幕府が出した諸法令とともに考察できたか。	プリントチェック
2学期	4. 幕藩社会の構造	４．幕藩社会の構造 ①：幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から考察する。	○		○	○	ａ江戸幕府の封建体制下での民衆統治について着目できたか。 ｃ封建的身分秩序の形成、経済的基盤などに関する諸法令を使い、江戸幕府の支配体制なを考察できたか。 ｄこれらの諸法令によって幕藩体制が強固になる過程を理解できたか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 幕政の安定	**第７章　幕藩体制の展開** １．幕政の安定 ①：17 世紀後半から 18 世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	○		○	○	ａ江戸初期の武断政治から文治政治への転換についての過程に関心を持ったか。 ｃ元禄時代・正徳の政治を取り上げ、その間の諸法令史料とともに幕政の安定過程を考察できたか。 ｄ幕藩体制の安定期における諸政策についての理解ができたか。	プリントチェック

2学期	2. 経済の発展	２．経済の発展 ①：幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、その社会的役割を考察する。	○		○	○	ａ江戸幕府の勧農政策により農業生産が進展し諸産業も発展したことに着目したか。 ｃ図表資料から農業技術の進歩、産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達を考察できたか。 ｄ三都の発達など都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開と具体的な商品産地を地図上で考察できたか。	プリントチェック
2学期	3. 元禄文化	３．元禄文化 ①：経済の発展ともに町人文化が形成された事について、町人の台頭や幕藩体制の安定と関連づけ理解する。	○		○	○	ａ文化の背景に町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展があることに関心を持ったか。 ｃ、幕府の教学として発展する儒学などに着目し元禄文化の文学・学問・美術について史料を通して考察できたか。 ｄ文化の地域性に着目し、元禄文化が上方文化であることを理解したか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 幕政の改革	**第８章　幕藩体制の動揺** １．幕政の改革 ①：農村の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義を考察する。	○		○	○	ａ18世紀後半以降の幕府・諸藩の経済的窮乏それに伴う支配体制の弱体化について着目したか。 ｃ改革の諸法令を史料を通じて読み解けたか。 ｄ百姓一揆・打ちこわしの頻発などにも着目して、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について考察できたか。	プリントチェック

2学期	2．宝暦・天明期の文化	2．宝暦・天明期の文化 ①：江戸中期に確立した洋学や国学などの学問、及び文学・芸能・美術について、社会の変容に関連づけ考察する。	○	○	○	○	a 社会の変容に着目して、この時期の学問の確立、各地に設立された教育機関の展開をとらえられたか。 b 鎖国下における洋学（蘭学）の成立過程を理解したか。 c 図表資料を通して宝暦天明期の芸術作品に関心を持ったか。 d 江戸中期における文化の興隆に理解が深まったか。	プリントチェック
2学期	3．幕府の衰退と近代への道	3．幕府の衰退と近代への道 ①：欧米諸国のアジア進出とそれに対する幕府の対処を踏まえ、幕府の衰退過程を考察する。 ②：近代化の基盤形成について、雄藩による産業経済面や軍事面などの改革という視点から考察する。	○	○	○	○	a 列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政を踏まえて、幕府の衰退をみることができたか。 b 欧米各国の日本への接近を世界史的な流れのなかで考えられたか。 c 図表資料を使用して、地図上での諸外国との関係を考察したか。 d 欧米の接近の中で、マニュファクチュアなど近代の萌芽がみられ、諸藩の財政再建から軍事産業確立に至る雄藩の出現過程を考察できたか。	プリントチェック

2学期	4.化政文化	４．化政文化 ①：化政文化における学問・思想・教育・文学・美術・生活文化のなど江戸後期の文化の展開について考察する。	○	○	○	○	ａ幕藩体制に批判的な学問・思想の起こり、寺子屋など庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して、江戸後期の文化の特徴を理解できたか。 ｂ経世論、海防論、開国論など幕末にかけての思想を国際情勢との関係で理解したか。 ｃそれらの思想に関して史料で確認して理解したか。 ｄ学問思想だけでなく江戸庶民の文化として広がった点を理解したか。	中間考査 プリントチェック これまでの学習の意見論述
2学期	1.開国と幕末の動乱	**第Ⅳ部　近代・現代** **第９章　近代国家の成立** １．開国と幕末の動乱 ①：世界史的視点を通して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②：天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡と戊辰戦争までの経過を理解する。	○	○	○	○	ａ開国に至る過程を理解したか。 ｂ諸外国と江戸幕府との関わりについて鎖国政策の終焉という流れの中で考察したか。 ｃ日米和親条約・修好通商条約締結、開港による経済・社会の情勢変化と政局への影響を文献史料を通して考察できたか。 ｄ外国との関わりについて、国内に於いて公武合体派、尊王攘夷派の動きに着目して、倒幕から明治政府の樹立にいたる権力構造の変化を理解できたか。	プリントチェック

2学期	2. 明治維新と富国強兵	２．明治維新と富国強兵 ①：明治新政府による富国強兵・殖産興業政策など明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ②：近代文明の展開、明治初期の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆などについて理解する。 ③：明治初期の対外について、欧米への対応と、アジアにへの対応との違いについて考察する。	○	○	○	○	ａ廃藩置県・徴兵制・四民平等・秩禄処分・地租改正・殖産興業など明治政府の諸政策の構築過程を考察できたか。 ｂ明治維新後の急速な近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことを理解できたか。 ｃ明治維新後の諸政策について、明治政府が発した諸法令の理解ができたか。 ｄ国境画定を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的にとらえることができたか。	プリントチェック
2学期	3. 立憲国家の成立と日清戦争	３．立憲国家の成立と日清戦争 ①：政府の強力な中央集権体制の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至るまでの過程を考察する。 ②：国家的課題であった不平等条約の改正交渉の過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。	○	○	○	○	ａ国会開設要求の運動など国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察できたか。また、憲法の特色、議会と内閣の在り方などを通して、戦前の立憲制のしくみを理解できたか。 ｂ条約改正が、法典整備など国内体制の問題だけでなく、世界史的視点から英露対立があったことを地政学的に考察できたか。 ｃ自由民権運動の過程の重要史料を読解し、立憲国家に至るまでの過程を考察したか。 ｄ朝鮮支配をめぐる対立が日清戦争の背景となった点を理解できたか。また、下関条約など関連する史料を読み解けたか。	プリントチェック

2学期	4．日露戦争と国際関係	４．日露戦争と国際関係 ①：開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を理解する。 ②：立憲体制成立後から桂園時代にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。	○	○	○	○	a 英露対立を背景とした日露戦争が軍事力・経済力・工業力など国家の総力を結集して戦われた点を注視したか。 ｂ日清日露の両戦争の要因が朝鮮半島支配にあることを 19 世紀末から 20 世紀初頭の国際情勢から読み解けたか。 ｃその際、史料や図表からそれらの動きを確かめたか。また、その後の韓国併合や満州進出の動きにつながる一連の対外政策の過程を理解できたか。 ｄこれらの対外戦争や大陸支配が、立憲政友会の成立から桂園時代に至る過程のなかで行われた軍備拡張の政策を踏まえて考察できたか。	プリントチェック
2学期	5．近代産業の発展	５．近代産業の発展 ①：日清・日露戦争前後に資本主義の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展を通して考察する。 ②：近代産業の発展に伴う社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	○	○	○	○	ａ日清日露の戦争を通じて皮肉にも産業が発展したことを理解できたか。 ｂ国際的な視点から産業の発展を理解したか。特に繊維部門での産業革命以降、製鉄・造船などの重化学工業の形成、鉄道・海運の伸張、財閥の形成、寄生地主制の成立などを相互に関連づけて考察できたか。 ｃ産業の発展過程を図表資料のグラフなどから読み解くことができたか。 ｄこれらの産業発展の裏で劣悪な労働条件に対する労働争議の頻発と社会主義運動の高まり、足尾鉱毒事件などに関心を持ち、社会運動への政府の対応に着目できたか。	プリントチェック

2学期	6. 近代文化の発達	6．近代文化の発達 ①：伝統的文化の上に欧米文化を摂取するなど近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点も含め考察する。	○	○	○	○	ａ近代文化が欧米の思想の流入によって形成されるとともにその反動として国家主義的な思想が形成された事を理解できたか。 ｂ近代文化の形成には外国から日本に来た人々の力があったことを様々な分野おける業績から確かめたか。 ｃその際に図表資料を使い確認したか。 ｄ実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、就学率の向上など教育の普及に着目して、国民が文化の創造に取り組んできた姿勢を考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 第一次世界大戦と日本	**第10章　二つの世界大戦とアジア** １．第一次世界大戦と日本 ①：第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移、政党政治の発展や日本の中国進出の状況などを考察する。 ②：第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。	○	○	○	○	ａ第一次護憲運動による大正政変以降、政党が政治の中心的役割を果たしていく過程を理解したか。 ｂ第１次世界大戦後中の欧米、アジアとの関係に関して、対華二十一カ条要求・シベリア出兵が国内外に及ぼした影響について考察できたか。 ｃ大戦景気に着目して、資本主義の発展による産業構造や社会構造の変化について考察できたか。その際国際収支などの産業グラフの読み取りができたか。 ｄ国内的にはロシア革命と連動したシベリア出兵の際の米騒動や原敬内閣の成立に着目してデモクラシー思想の浸透による政党の役割と動向について考察できたか。	プリントチェック

2学期	2．ワシントン体制	２．ワシントン体制 ①：ワシントン体制における協調外交の進展について、国際環境の推移から日本の立場を考察する。 ②：社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展と政党内閣制成立の意義について考察する。	○	○	○	○	ａ第１次世界大戦後のヴェルサイユ体制、ワシントン体制の中で対欧米協調外交を進める一方、日本の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目できたか。 ｂ世界の大国の一員となった日本の立場を様々な国際会議の中で理解することができたか。 ｃそうした国際条約を史料として考察したか。 ｄ国内的には労働争議・小作争議・女性解放運動・部落解放運動・社会主義運動など様々な社会運動が起こってきた背景に着目できたか。普選運動・護憲三派内閣の成立・治安維持法の成立などに着目して政党政治を考察できたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述
3学期	3．市民と大衆文化	３．市民生活の変容と大衆文化 ①労働者や都市市民による大衆社会の基盤の成立に着目し、市民文化の特色について考察する。	○		○		ａ近代の市民文化について学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に取り上げ、欧米文化の関わりとその浸透の中で、大衆文化の進展による社会風潮に着目して考察できたか。 ｃ出版物や芸術作品など図表資料から市民文化について確かめられたか。	プリントチェック

3学期	4．恐慌の時代	４．恐慌の時代 ①：戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②：社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	○	○	○	○	ａ戦後恐慌・金融恐慌・昭和恐慌を取り上げ、背景となる関東大震災・金解禁・世界恐慌との関連を含めて理解できたか。 ｂ1920 年代の国内経済問題は国際経済を背景にして発生した経済問題であることを理解したか。 ｃ図表グラフや写真などから当時の状況を読み解けたか。 ｄ無産政党の誕生など社会主義運動が高まる中、中国情勢を踏まえ、山東出兵や統帥権干犯問題など軍部の政治的進出を背景に協調外交から強硬外交へと転換していく過程を考察できたか。	プリントチェック
3学期	5．軍部の台頭	５．軍部の台頭 ①：世界情勢や軍部の政治的進出に着目し、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ②：国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二･二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	○	○	○	○	ａ満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について、五・一五事件などの国内の状況も踏まえて考察できたか。 ｂ20 世紀前半の欧州情勢も含め、日本と英米を軸とする欧米諸国の対立が顕在化する背景を理解したか。 ｂ当時の国際情勢についての史料を読み解き、日本が軍事国家へ歩み出す過程を理解したか。 ｃ史料だけでなく新聞記事や写真から時代背景を読み解くことができたか。 ｄ金輸出再禁止から管理通貨制度への移行、新興財閥の台頭や学問への弾圧などを踏まえ、軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか。	プリントチェック

3学期	6．第二次世界大戦	６．第二次世界大戦 ①：日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ②：第二次世界大戦について、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	○	○	○	○	ａ中国情勢の変化から日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争に至る過程について関心をもったか。 ｂ連合国と枢軸国の違いや国民生活の犠牲のうえに成り立っていた総力戦体制などを踏まえ、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目できたか。 ｃこれらを理解するために戦時下で出された法令や戦場での写真、国内の空襲の様子などから、戦争の愚かさを主体的に学ぶことができたか。 ｄ戦時下の経済と国民生活・文化など、様々な角度から戦時下で生きた人々の苦しみを考察することができたか。	プリントチェック 章末小テスト
3学期	1．占領と改革	**第11章　占領下の日本** １．占領と改革 ①：戦後の占領政策及び民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ②：戦後政治の動きについて、新たな日本の出発点となる日本国憲法制定の意義を理解する。	○	○	○	○	ａアメリカを中心としたＧＨＱによる対日占領政策、民主化政策が、日本国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付けたか。 ｂ戦後の日本の国際関係がアメリカを軸に動き始めたことを理解したか。 ｃ戦後の諸改革についての諸法令から日本の戦後社会の変革を確かめたか。 ｄ国民主権・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意義、戦後直後の国民生活の状況を理解できたか。	プリントチェック

3学期	2．冷戦の開始と講和	２．冷戦の開始と講和 ①：東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、戦後の日本が主権を回復した意義を考える。 ②：第２時世界大戦後の冷戦の始まりとその後の日米関係のについて、様々な国の立場から考察する。	○	○	○	○	ａ中華人民共和国の成立、朝鮮戦争の勃発に伴い日本に対する占領政策が転換されたことを理解したか。 ｂサンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を考察できたか。 ｃこれらの条約の影響について考察したか。 ｄ経済面では経済安定九原則、政治面では警察予備隊の設置による日本の再軍備化に着目して戦後の日米関係の考察ができたか。	プリントチェック 章末小テスト
3学期	1．55年体制	**第12章　高度成長の時代** １．55年体制 ①：戦後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める 55 年体制の成立から長期保守政権となるまでの経過を考察する。 ②：日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係など国際社会への復帰の動きを考察する。	○	○	○		ａ保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした長期保守政権の誕生に至るまでを、外交・政治・経済を踏まえて多面的・多角的に考察できたか。 ｂ日ソ共同宣言などサンフランシスコ非調印国との国交交渉と、国際連合加盟の意義を理解できたか。 ｃこれらの史料とともにその後の新安保条約・日韓基本条約・沖縄返還問題などを取り上げ、外交・政治の再編過程を把握できたか。	プリントチェック

3学期	2．経済復興から高度成長へ	２．経済復興から高度成長へ ①：朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ②：社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。	○		○	○	ａ特需景気の影響、産業構造の急速な変、1960年代を中心とした高度経済成長期における日本の動きを考察できたか。 ｃ1950 年代～1960 年代の日本の復興について新幹線や高速道路などの公共事業だけでなく、市民生活が大きく変化したことも理解したか。 ｄ耐久消費財の普及による豊かさの享受、流通網・交通網の整備、技術革新が進む一方、農村の過疎化や四大公害問題などの社会問題にも注目したか。	プリントチェック 章末小テスト
3学期	1．経済大国への道	**第13章　激動する世界と日本** １．経済大国への道 ①：ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ②：高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を考察する。	○	○		○	ａベトナム戦争を遠因とするドル＝ショックや第四次中東戦争に発する石油危機による世界経済の混乱に対応するため開かれた主要先進国首脳会議が、その後の世界的な問題解決の場となったことに気付いたか。 ｂ世界や日本の経済が石油に依存しているという状況を物価水準などの点から理解したか。 ｄ石油危機を技術革新で乗り越え、経済大国となった日本が国際貢献や貿易摩擦・円高への対応が求められたことが考察できたか。	プリントチェック

3学期	2．冷戦終結と日本社会の動揺	２．冷戦終結と日本社会の動揺 ①：冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる ②：科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの諸課題とそれに対する日本の役割を認識する。	○	○		○	ａ冷戦終結後の東欧革命、５５年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取りあげ考察できたか。 ｂ冷戦終結後はアジアとの関係の再構築など諸課題を抱えている現状を理解できたか。 ｄ原子力に対する安全性、国連平和維持活動への対応、経済不況に対する国内改革など、具体的な例をもとに理解することができたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。